

平成 29 年 9 月 19 日

9 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の原木生産、出材量とも盆休みと長雨の影響で減少。今年は梅雨期の虫害材は少なかったが、夏場に入ってから雨続きで虫害材が出ていることもあり、製材工場は無理して手当する様子はなく、安ければ買うという姿勢が続いている。出材減に対する市況の反応はスギ・ヒノキ材ともに見られない。製品需要がまだ鈍いため、原木価格は概ね横ばいで推移。8 月下旬からは天候が安定し、出材も増えてくる見通し。

群馬の製材工場は全体的に順調な操業だが、原木流通量が依然少なく、多少操業し難くなっている。特にスギ 4m 中目材の集荷に苦戦しているが、少しずつ増え始めている。虫害材が多く、特にヒノキが目立つ。原木在庫全体量は確保されているが、材種、径級等で依然アンバランスな状況にある。県内の製品販売は低調だが、首都圏市場からの引合が比較的ある。公共工事の受注残があり、年末に向けて忙しい状況。製品在庫は破風板、荒床、ラス下が少な目、角類は比較的ある。製品価格は全般的に低位安定で変わらず。

2. 米材

米加北西部では 8 月も乾燥した天候が継続し、カナダ BC 州に続き米国オレゴン州沿岸部でも伐採停止の地域が出ている。山火事警戒による伐採規制が緩む目処は立っていない。出材は抑制されているが、米国製材工場の製品荷動きは好調、原木集荷が旺盛で産地の港頭在庫は減少している。ウェアハウザー社の 9 月積み対日価格(推定)は前月に比べ、尺上 20 ドルアップ、尺下 30 ドルアップ。米国製材工場の原木購入意欲は引続き旺盛であり、米国内価格と輸出価格で広がった乖離を埋めるため大幅な値上げとなった。しかし乖離は埋まり切れておらず、10 月積み対日価格も値上げの公算が強い模様。

7 月の原木入荷量は 213 千 m^3 、1-7 月累計で 1,583 千 m^3 、前年同期比 8%減。出荷量は 219 千 m^3 で出超、1-7 月累計では 1,616 千 m^3 となり、前年同期比 3.5%減。在庫量は前月より 6 千 m^3 減の 216 千 m^3 で、在庫率は前月に続き 1 ヶ月割れとなった。9/1 に国内大手製材工場が全品 2,000 円の値上げを表明。8 月の TLT(東京木材埠頭)の米材製材品入荷量は 29 千 m^3 (前月比 12.9%増)、出荷量は 26 千 m^3 (同 2.3%減)、在庫量は 47 千 m^3 (同 6.2%増)。盆明け後に多

少の荷動きは出たものの、迫力に欠ける状況。先行き現地価格は高騰する一方で、日本国内の値上げがうまく進んでいない。

3. 南洋材

サバの伐採地では1週間のうち、半分程度が雨で港頭在庫は少ない。サラワクの天候もサバと同様で、丸太輸出枠が7月より30%から20%に削減され、需給は非常にタイト。PNG、ソロモンは過去の気候パターンが崩れ、予想が困難な状況。インドネシアも原木伐採は天候不順で低調である。9月の原木入荷予想量は23千m³、出荷は横ばい、在庫は少しずつ増えている。合板用原木の在庫は少なく、製材用は非常に少ない。製材品の入荷も少なく、量的に多いフリー板の市況が今一つ、平割は低位安定、デッキ材の販売は比較的好調。

4. 北洋材

夏山伐採が終了し、搬出を急ぐ時期となった。製品は中国等の購買意欲が高く、現地メーカー同士での原木の取合も見られ、原料価格は一段高。原木輸出価格はカラマツ・エゾマツ・アカマツとも\$145-163で保合、アカマツ原板は\$380で保合。現地挽き3cm×4cmは在庫多く、価格は弱含み。3mタルキはマンション不調が続く、荷動きは鈍い。国産完成品は良質グレードが堅調。7月の原木入荷量は7.6千m³(前年比13.4%減)、出荷量9.1千m³、在庫量は22.4千m²で1.5ヵ月、製品入荷量は54.0千m³(同4.3%減)。

5. 合板

国産カラマツ、スギとも原木入荷は順調で安定、ロシア産カラマツは原木生産が低調で不足気味となっており、価格は強い。米材も原木生産が低調で価格は強い。南洋材は出材が僅かに良くなっているが、価格は依然として強い状況。7月の国内合板生産量27.4万m³のうち、針葉樹合板は26.2万m³の高水準を維持、出荷量も26.2万m³と過去最高を記録した先月に続き高水準となった。7月は出荷量が生産量を僅かに上回り、在庫量は10.3万m³、うち構造用合板は8.9万m³と先月と同じで依然低水準の域にある。国産針葉樹合板の9月販売価格は12mm、厚物ともに30円の値上げを打ち出しており、流通での反発は大きい、需要の衰えは考えられず、浸透まで時間はかからない模様。国産針葉樹合板は8月に入って東日本エリア木建ルートでも受注が活発になり、メーカーからの割振りも少ない中で、地域によっては1~2週間程度の納期遅れが発生している。国産針葉樹合板は高水準の出荷が続く、在庫は低水準のまま、今後の需要期に向けて玉不足が懸念される。輸入合板は現地でのコストアップから値上がりが進んでおり、相変わらず塗装型枠、生型枠に

不足感があり、薄物は逼迫状態となっている。まだしばらく値上がり傾向が続くと見られる。

6. 構造用集成材

8月のラミナ入港は順調。欧州各サプライヤーが夏季休暇で、今後出港は減少。9月にはラミナ第4四半期の交渉が始まるが、下げは難しい状況。世界的に需要が出てきているRWはタイト気味になると予測される。

国内集成材メーカーの受注は好調。RW梁桁の荷動きは良好だが、WW柱・間柱は一服感。RW柱、梁桁の受注残があり、9月も好調な販売を維持。ユーロ高よりRWは全般に上げ、接着剤のレゾルシノールの値上げ(10~15%)により今後さらに値上げが見込まれる。輸入集成材の入港は少ないながら安定しているが、入荷増は期待できず、年末にかけて集成材梁桁製品の品薄感が高まるものと見られる。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷は順調、特に国有林関係が多い。解体材入荷は例年並み。消費は製紙用が抑制継続中でバイオマス発電に流れている。燃料用は既存のボイラー・バイオマス発電所のトラブル・定期修理が多く、使用量が滞る傾向。在庫は製紙用が原木・チップとも高めで推移、燃料用も増加傾向。一部製紙用の広葉樹使用減により価格下方修正の動き。輸入チップの供給は南米、豪州から東南アジア、インド等にシフト。

8. 市売問屋

構造材は国産材・外材とも荷動きは悪い。造作材はスギ、ヒノキともに荷動き悪い。外材では安いスプルー材が売れているが、良材は少ない。市場への来客数が減ってきている。材木店の仕事の内容が細かくなっている。東北地方で雨の日が続き、製品が少なくなってきた、少し品不足になるか。

9. 小売

スギKD柱・小割・板割は保合、ヒノキKD柱・土台は強保合。外材はアカマツタルキ良材が品薄で強保合、米ツガ角・平割とも品薄で強保合、SPFは保合、WW間柱は弱保合。造作材はスプルー、ピーラー平割、タモ平割とも保合。集成材はWW柱、梁は保合、RW梁、柱ともに強保合。合板は国産針葉樹合板が強保合、ラワン合板の輸入品は品薄のため強保合、コンクリート塗装パネルも品薄で強保合。

9月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	→	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↗
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	↗
東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→		
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40上級	→
			アカマツ (KD) 16×40上級	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→